

# 平成27年度 3年次諏訪市理科振興計画

## 諏訪市具体的施策（3より）

自然への関心を高め理科教育の充実を図る①学校教育における理科教育振興②社会教育における理科振興

### 理科教育における実態

・新CS内容が大幅増加。時数確保も難しい。  
 ・日常業務の増加の中、教材準備時間の確保が難しい。  
 ・経験の少ない理科教師多い。  
 ・市は理科的イベント充実している。地域の活動が活発。  
 ・各校で、実践を重ねている。  
**市内児童・生徒の意識実態**  
 ・小学校段階では高い割合で理科好きで自然への興味関心も高い。  
 ・課題解決力がつきつつある。  
 ・「理解」に関しては課題が残る。  
 ・中学に入ると早い段階で理科離れが進む傾向が意識調査で判明。一年生の授業改善に努めてきた。  
 手応えはある。

### めざすもの

自然の営みや科学の不思議さに強く興味関心をいだきその原理や仕組みを自ら探求することを楽しみとして学び続ける児童・生徒を育てる

### 具体的取り組み

#### ① 学校教育における理科教育振興

「自然に親しむ」「見通しを持って観察、実験」「問題解決の能力育成」「実感を伴った理解」「科学的な見方考え方」「自然を愛する心情育成」

#### ② 社会教育における理科振興活動

「不思議さとの出会いの場」「科学する心の育成」

#### 1 課題・方向の確認

- ・4月の学校訪問において、「理科振興取組のまとめ」内の各校課題の確認と支援計画の確認をする。
- ・グランドデザインに位置づいた「理科振興目標」「指導プラン」をもとに、支援・指導内容を決めだし実施。
- ・以後、学校訪問計画に沿って支援指導の実施。

#### 2 授業の充実・指導力の向上

- ・現場での理科授業支援・指導、TT支援。
- ・「理科振興委員会」を主宰し、理科振興にかかわる活動を推進。
- ・授業公開・授業研究、授業参観等で授業改善研究。（一公開、中学校区公開等）
- ・理科教科会活性を支援・助言。
- ・学習カード・教材開発・実践事例・板書記録等を資料提供として随時発信。
- ・「ものづくり科」との融合を探る。（理科クラブにおけるものづくり試行）
- ・授業力向上のための研修・論文研修・自然科学に関する講演会の企画推進。
- ・全国学力調査結果を中学校区(理科振興委員会)で分析して、指導に活かす。

#### 3 理科環境の整備

- ・理科準備室の整備支援。 ・「理科通信」「校長講話」「日報」等の勧め。
- ・理科的環境設定への助言。（「自然コーナー」「命のコーナー」「体験コーナー」等）
- ・開発教材(事象との出会わせ方、題材、外部指導等)や実践等「理科振興だより」として発信。
- ・教材の手配、準備、助言等。
- ・図書館と連携し、「科学絵本」「科学コーナー」等の設置を進める。

#### 4 理科的活動の活性化

- ・一研究に関し、出前授業の実施 ・子どもの自然体験講座実施。
- ・工学院大学親子科学教室で学ぶ（中学生指導型）。 ・中学校区科学教室拡大実施。
- ・他団体との科学教室共催。
- ・子ども祭り、社会教育の場で「科学の面白さ」を発信。

### 評価

評価者・・・ 児童・生徒 各校職員 評価項目・・・ 本年度重点4本柱に対し  
 評価方法・・・ 児童・生徒(アンケートは検討中)  
 学力調査(各校のNRT・全国学テ結果を中学校区で分析し成果と課題を確認)  
 職員への聞き取りで生の声を収集し成果と課題を確認(共有)